

GKP 未来会×京都大学 活動報告

2017年11月20日に開催された京都大学の3回生向けの講義“下水道工学”をお借りして、GKP 未来会の活動を行いました。昨年に引き続き、田中宏明教授の全面協力を頂き、イベントを開催いたしました。

1. 実施概要

イベント名：GKP 未来会×京都大学

日 時：2017年11月20日（月） 8：45～10：15（うち45分間）

場 所：京都大学吉田キャンパス 総合研究4号館 共通3

対 象：京都大学 3回生 30名

備 考：講義、下水道工学の時間を使用

実施内容：

- GKP 未来会紹介
- グループワーク前の情報提供、事例紹介（琵琶湖流総計画、堺市災害対策）
- グループワーク
- 発表

2. 実施成果、所感

今年の京都大学のイベントを企画するにあたり、田中教授から「学生に社会人と一緒にディスカッションする場を作ってほしい」とオーダーを頂きました。GKP 未来会関西のメンバーはディスカッションにふさわしいテーマの選定に苦慮しました。

我々からの情報提供として2つ紹介しました。琵琶湖流総計画を紹介し、超高度処理の導入にむけての背景や課題を説明しました。また、災害対応が学生にはイメージしやすいと考え、堺市の事例をもとに災害対応についても情報提供を行いました。



写真 情報提供の様子

情報提供のあとは、学生にグループに分かれてもらい、「もし自分が公務員なら、民間の企業人ならこの課題に対してこのように取り組みたい」ということをテーマにディスカッションしてもらいました。

さすが京都大学の学生さんと思わせる理解力とまとめる能力にGKP未来会一同感心しました。

「お金がないなら、地震対策をあきらめることはできるのか？」

「地震対策の総費用と地震対策を行わなかったときの被害額を比較しているのか？」

「琵琶湖をこれ以上きれいにする必要はあるのか？」

など我々もドキッとするような意見がありました。



写真 学生とのディスカッションの様子

最後は、2グループからディスカッション内容を発表して頂きました。いずれのグループも短い時間でまとめきれていました。さすがです。

GKP未来会関西の活動も年1回ペースではありますが、実績を踏んできています。来年度はさらなる発展に向けて活動していきたいと思います。



写真 グループ発表の様子